



# 南砂みずべ かわらばん

2011・11月

通巻 65 号



自然のおもちゃがいっぱい



キンモクセイの香りに誘われて、時間のたつのを忘れ、ちょっと寄り道…。そんな時、あーいい時間だなと小さな幸せを感じます。日本は四季が本当にきれいですね。花も木も実も自分の季節が巡ってくると、一番いい顔で輝きます。ほんの短い季節を本気で生きているなって感じます。そして周りの人たちを大いに楽しませてくれるのですね。

戸外には子ども達を生き生きとさせてくれる、自然のおもちゃがいっぱいです。先日、近所の公園で、ヨチヨチと歩くようになった子が、でこぼこ道や坂道を、嬉しそうに歩いていました。時々ドスンと尻もちをついてもすぐに立ち上がって歩き出す姿は、頼もしく喜びにあふれているようです。いつもはすぐに泣いて助けを求めるのに、楽しいことに夢中になっている時には、不思議と痛くないようです。小さな石ころを見つけると一つずつ拾っては、階段に置きに行きます。また一つ、また一つ。階段に沢山の小石が並びました。それを見て満足したのか、「フー」とため息をついて他の場所へ。歩きながら何かいい物はないかなと探しているようです。

するとまた石ころを拾って、今度は水溜りにポトン。何回か繰り返すうちに少し大きな石を両手で持って水溜りにポトン!“ポトン”という音がきこえたのかな?目をまん丸くしてみました。よく見ていると小さな石の時には、すぐに次の石を拾いに行くのに、大きな石の時には、“ポトン”を確かめているようにうなづいていました。まるで「そうそう、やっぱり大きな石と小さな石は、音が違うんだよね」と言っているかのよう。大小の物体に関する反応の違いを検証しているような実験現場でした。可愛い科学者の目がキラリと光った瞬間に出会ったようで嬉しくなりました。

大人から与えられたものでなく自分がしたいと考えたことを、自分の手足を使って実現する遊びは、小さなこども達にとっても、ため息をつく程、充実した時・満足の時なのでしょうね。

この季節は落ち葉や木の枝も、こども達をきっと楽しませてくれることでしょう。ママやパパもこどもの頃を懐かしく思い出せるかも知れませんよ。

依田幸子

## 今月の子育ての詩(うた)

和光堂「子育て川柳」より

- ・ぺらぺらと よく喋るのに まだオムツ
- ・ショッピング 服選ぶより 子を探す・・・



## 今月のわたしのお気に入り “まぐらのせんんにん そのあなたの巻”



作・絵：かがくいひろし  
出版：佼成出版社

まぐらのせんんにんさまがお散歩していると、色々な動物達が謎の穴にはまっています。

せんんにんさまは動物達を助けようとするのですが自分もはまってしまい…。

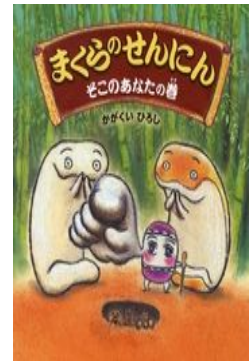
困ったせんんにんさまは「そのあなた」に助けを求めます。

「そのあなた」は誰の事??そして最後には笑えるしかけが待っています。

我が家の4歳になった娘はこの絵本を読むたびに大爆笑。

親子で楽しめる絵本です。シリーズ第1弾の「さんぽみちの巻」もおすすめです。

(武藤)



### —プログラム報告— 「自然と遊ぼう！」 10月12日(水)

秋晴れの気持ちが良いお天気の中、ひろばを抜け出しみんなで隣の公園にお出かけしました。公園の林の中にはどんぐり、落ち葉、きのこ、細い小枝など秋を感じるお宝がいっぱい。普段はなかなか足を踏み入れない林の中でみんな夢中になって秋のお宝を集めていました。集めたお宝は器につめてお弁当にしてみんなでお披露目会。どんぐりを山盛り集めた子、一生懸命探した松ぼっくりを大事そうに見せてくれる子と、それぞれ個性あふれるお弁当を見せてくれました。そのあとはみんなが見つけてくれたどんぐりを本日のおやつにするため焚火の準備。焚火初体験のお子さんも多く、興味津々に見つめる子、怖くて遠巻きに眺める子、小枝を焚火にくべるお手伝いをしてくれる子とそれぞれの感じ方で焚火初体験を味わっていました。どんぐりは焚火に入るとあっという間に焼けてこんがりの良い匂いが園庭に漂い、ぱくっと食べると栗に似た秋の味で「もっと食べたい～」という声が挙がっていました。

公園の林は入ってはいけないと思っていたというママもいましたが、林の中には子ども達の大好きな物がいっぱい。ぜひみなさんも秋を感じにお出かけしてみてください。



### 江東区南砂子ども家庭支援センター “みずべ”

〒136-0076 江東区南砂3-14-1-101 (指定管理者: 社会福祉法人雲柱社)

TEL03-5617-7772 FAX03-5617-7773 (児童虐待ホットライン TEL03-3646-5481)

Email: [minamisunakosodate@ka.baynet.ne.jp](mailto:minamisunakosodate@ka.baynet.ne.jp) URL: <http://www.kotomizube.jp>